

南小だより

minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp

平成30年7月1日

7月号

さいたま市立南浦和小学校

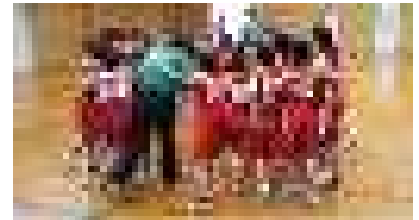
電話 048-861-3781



なんで綺麗やねん

校長 笹原 秀之

南区Bブロックバスケットボール大会が辻南小で行われ、6年生の代表チームの児童と一緒にってきました。南小の代表らしくしっかりとした態度で、最後まであきらめないでボールを追う姿、気持ちは立派でした。運動会後からの取組で大変忙しかったのですが、校内大会を含めたこの大会の中で、勝つことも負けることも経験し、学ぶことも多かったと思います。気持ちも1つにまとまり、これからの学校生活に生かしていってくれと期待しています。



試合前、辻南小に着いて控室となっている部屋に通された時に、子どもたちが、新しい校舎できれいでいいなあ。というようなことを言っていました。確かにきれいで、とても恵まれた施設で広々としています。うらやましいと思うのも納得する学校です。気持ちよく過ごさせていただきました。

先日、米朝首脳会談が行われたシンガポールは、ゴミがなくきれいな街として有名です。これはご存知のように、政府の徹底した政策によりルールが決められ罰金が科せられているからです。旅行客なども気を付けなければならないのですが、ガムやたばこの持ち込み・電車内での飲食・横断歩道等を利用しないでの道路の横断・鳥へのえさやり・ごみのポイ捨て・公衆トイレで水を流さないこと・喫煙所以外での喫煙等さまざまあります。これも街の景観を保つ1つの方法です。

さて、本校では、清掃の時間は「もくもく てきぱき すみずみ …ピカピカ」という合言葉のもと取り組んでいます(他の学校でも同様の合言葉はあると思います)。子どもたちはマスクをして、清掃の時間内に必要なこと以外は話さず黙ってきれいにしています。私も時間があるときは清掃時間に校舎内を見て回って、汚れている所に手を入れたりしています。先日、普段の清掃場所とは違う所を雑巾がけしてくれている児童がいたので、「ここもきれいにしてくれているの。」と聞くと、「今日はここの掃除の人たちが用事があって来ていなかったから。」と言って、また拭き始めました。すると、もう一人一緒に掃除をしていた児童が「自分たちの掃除場所の少し外までやると、しない所がなくなってきれいになるんです。」と教えてくれました。私は嬉しくなって、「ありがとう」と言ってその場を離れました。これぞ日本の文化なのかなと考えながら。

以前、新聞の投稿の欄に、通訳案内士の方の次のようなお話が掲載されていました。

「なんでこないに道路が綺麗やねん。ぼくの国なんか紙くずだらけやで。市が毎日、清掃車でも出してんの?」。先日、欧州から来た若い男性らをガイドしていた時、彼らが両手を広げて叫んだ言葉を関西弁に訳すと、こうなる。

「日本では自宅前や店の前が公道でも掃除をし、その際、お互いが両隣側に1mほど多めに掃除をするの」という説明に不思議そうな表情だが、「道が綺麗だと気持ちがいいし、ゴミを落とす気にならないでしょう。」などと言うと、皆が納得したようにうなずいた。



仕事柄、日本のいいところ探しは日々やっているが、これは外国の人から教わった意外な良さだ。外国の人に日本の風景や歴史、文化を感心されるのもうれしいが、日本人が昔から繰り返してきた、何でもない日々の暮らし方が彼らをうならせるのは、内心なかなか誇らしい。

本校のように歴史ある校舎でも、自分たちの力できれいにするという意識、姿勢は、きっと日本の街をも美しくしていく将来の姿に結びつくのではないのでしょうか。また、そうなることを期待します。これからも心を育てる学校でありたいと思います。